

泉・南部巴川流域守る会（笠間市）

積極的な農地維持活動と美しい景観を育む地域活動

1 活動組織の概要

取組開始年度	平成 25 年度
組織構成	12 集落，農業者 149 名，非農業者 25 名，子供会，老人会，消防団ほか
支払区分	農地維持支払，資源向上支払（共同，長寿命化）
対象農用地	68.5ha（全水田）
対象施設	開水路 15.7km，パイプライン 16.5km，農道 16.3km，ため池 5 ヲ所
交付金額（H29）	6,029 千円



遊休農地発生防止のための保全管理



水路の補修

2 主な活動内容

準備点検	計画・啓発	実践活動
<ul style="list-style-type: none"> 施設の点検，機能診断（4 月） 遊休農地発生状況調査（4 月） 	<ul style="list-style-type: none"> 年度活動計画の策定（5 月） 地域住民との意見交換会の開催（8 月） 	<ul style="list-style-type: none"> 水路，路肩，法面の草刈り（4 月，5 月，7 月，9 月） 用水施設の機能診断，保守（5 月） 景観形成のための植栽（8 月，11 月） 水質調査（4 月，5 月，7 月） 生物調査（8 月）

3 地域の状況と取り組みへのきっかけ

- ・本地域は，笠間市南部の愛宕山の南側に位置し，水田と梨や柿などの果樹栽培が盛んな地域です。
- ・地域内の農地，農業施設などの地域資源の適切な保全管理に向けて，地域住民も巻き込んで，平成 25 年度に組織を設立し，活動を開始しました。

4 特徴的な取組

- ・資源向上支払のうち、農村環境保全活動において3個以上のテーマを選択し活動を実施しています。
- ・子供会と連携した生き物調査、「ともえがわ花園」を複数箇所に設置し、子供会、老人会と連携して、ヒマワリやグラジオラス等季節に合わせた景観形成のための植栽、役員を中心とした水質調査などを通して地域住民との交流機会の創出に努めています。
- ・また、活動内容をまとめた広報紙を配布し、活動に対する理解促進を図っています。



地域の子どもたちと生物調査



広報紙の発行



水路の水質検査



ヒマワリの植栽

5 取組の成果・効果

- ・地域共同の取組により、農地や農業用施設の維持管理につながりました。
- ・植栽、水質調査などを通じて、農村環境の景観形成につながり、活動内容については、広報誌を発行し、地域に周知しています。